

札幌市下水道事業中期経営プラン2015の概要

【計画期間】平成23年度(2011年)～平成27年度(2015年)

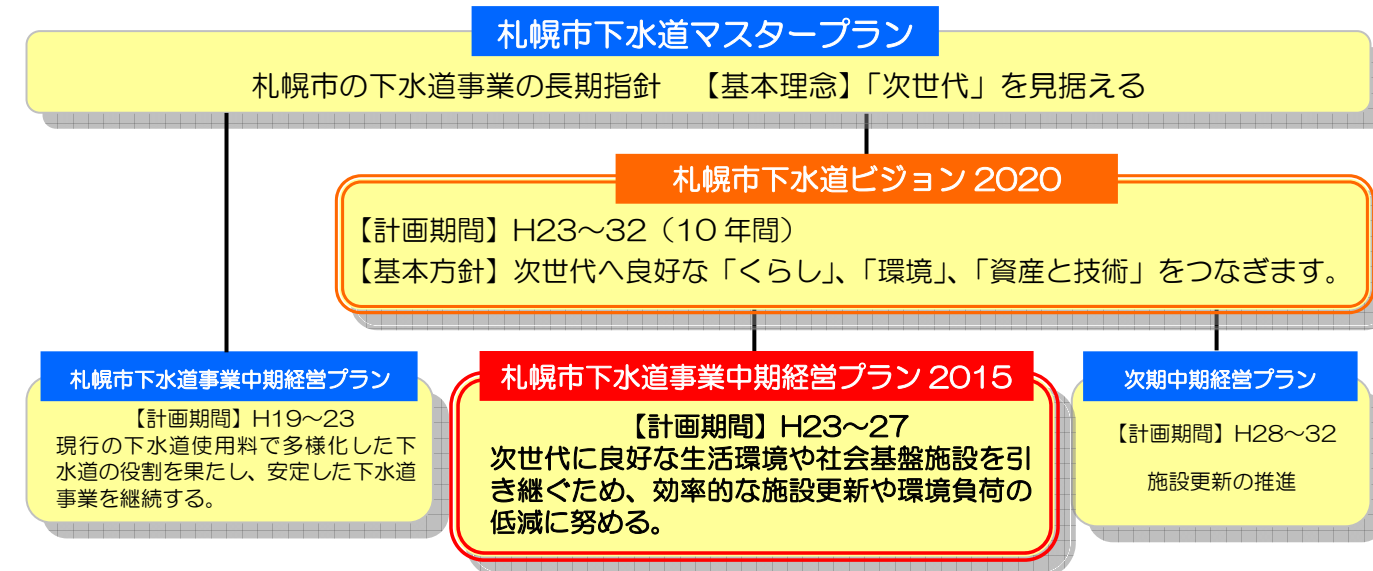
作成	建設局下水道河川部	資料
提出	平成23年9月12日	下-1-1

第1章 総論

【策定の目的】

施設の老朽化の進行や景気の低迷に伴う使用料収入の伸び悩み等、下水道事業を取り巻く環境が変化中、将来を見据えながら、今後5年間の下水道事業を計画的・安定的に実施するため、『札幌市下水道事業中期経営プラン2015』を策定する。

【位置づけ】



【5年間の取組方針】

- 老朽化が進行する施設の状況把握に努め、ライフサイクルの最小化を目指した修繕・改築を行います。
- 省エネルギーや新エネルギーの導入に努める等、積極的に環境負荷の低減に努めます。
- 限られた財源・人材で安定的な事業運営を行うため、事業の選択・集中や効率的な執行体制の構築に努めます。
- 市民の信頼に応え、ニーズに合った効果的な事業運営を行うため、広報・広聴活動の充実に努めます。

【計画目標と体系】

札幌市下水道ビジョン2020で掲げた基本目標・施策目標に基づき、具体的な取組を進める。

＜プランの体系＞

- ・ 事業計画
- ・ 財政計画
- ・ 運営の視点

	基本目標	施策目標	施策
事業計画	安全で安心な市民生活の確保	下水道機能の維持 災害に強い下水道の実現	下水道機能の維持 下水道施設の改築・再構築 雨水対策 地震対策
	環境に与える負荷の低減	清らかな水環境の保全と創出 低炭素・循環型都市の実現	合流式下水道の改善 処理の高度化の推進 地球温暖化対策 下水道資源の有効利用
財政計画	健全で持続可能な経営	経営基盤の強化	財務体質の強化 人材の育成
運営の視点	【市民参画の推進】 情報共有と市民参画		

第2章 事業計画

【基本目標1】 安全で安心な市民生活を維持します

【施策目標1-1】 下水道機能の維持

- ◆ 下水道施設の維持管理 (計画事業費 667 億円)
 - 管路施設の維持管理
 - 処理施設の維持管理
- ◆ 下水道施設の改築・再構築 (計画事業費 341 億円)
 - 老朽管路・軟弱地盤地域における管路の改築
 - ポンプ場・水再生プラザの改築
 - 汚泥処理の集中化 (再構築)

【施策目標1-2】 災害に強い下水道の実現

- ◆ 雨水対策 (計画事業費 87 億円)
 - 雨水ポンプ場・雨水拡充管などの整備
 - 雨水拡充管や雨水貯留管の整備
 - 協働による雨水流出抑制の推進
- ◆ 地震対策 (計画事業費 54 億円)
 - 管路及び水再生プラザ (管理棟など) の耐震化
 - バックアップシステムの構築

【基本目標2】 環境に与える負荷の低減に努めます

【施策目標2-1】 清らかな水環境の保全と創出

- ◆ 合流式下水道の改善 (計画事業費 55 億円)
 - 河川への汚濁負荷量の削減
 - きょう雑物の流出抑制
- ◆ 処理の高度化の推進 (計画事業費 4 億円)
 - 処理の高度化による水質保全
 - 新たな高度処理施設整備の検討

【施策目標2-2】 低炭素・循環型都市の実現

- ◆ 地球温暖化対策 (計画事業費 2 億円)
 - 改築・更新にあわせた省エネ化の推進
 - 新エネルギー・エネルギー高度利用の推進
 - 下水処理プロセスの低炭素化の推進
- ◆ 下水道資源の有効利用 (計画事業費 1 億円)
 - 下水汚泥等の有効利用
 - 汚泥の有効利用メニューの多角化

※ 上記に加え、「その他の整備」として183億円を計上

第3章 財政計画

【基本目標3】 健全で持続可能な経営を目指します

【施策目標3-1】 経営基盤の強化

- ◆ 財務体質の強化
 - 施設の長寿命化によるライフサイクルの最小化
 - 効率的な執行体制の構築と民間委託の推進
 - 汚泥処理の集中化とコンポスト事業の廃止
 - 企業債未償還残高の縮減
 - 適正な受益者負担のあり方の検討
- ◆ 人材の育成
 - 技術・知識を育成・共有する機会の創出
 - 民間企業・研究機関との技術交流の推進

＜5年間の事業費＞

建設事業費 727 億円 (前プラン比 Δ10.0%)

既存の下水道機能を維持するための改築・更新事業を最優先とし、地元要望や他事業に関連した事業、災害対策、環境対策等、優先度の高い事業を厳選した。

維持管理費 815 億円 (前プラン比 Δ 3.4%)

施設の更新費用の低廉化・平準化を見据え、施設の長寿命化のための修繕費用を大幅に増額する一方、経営の効率化を進めることで、全体額の減少基調を堅持した。

札幌市下水道事業中期経営プラン 2015 の概要

【計画期間】平成 23 年度（2011 年）～平成 27 年度（2015 年）

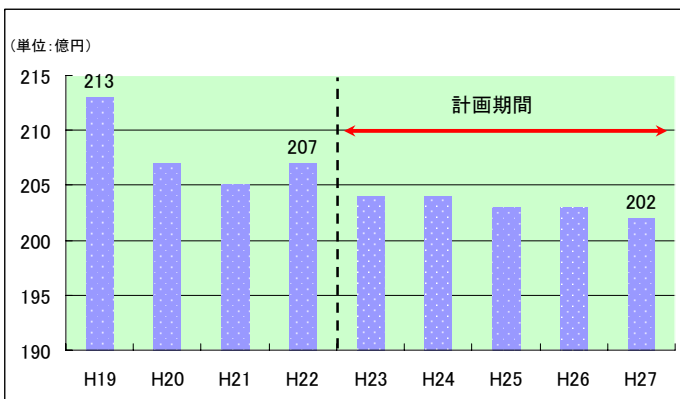
第3章 財政計画

【中期財政見通し】

【主要収入項目見通し】

● 下水道使用料

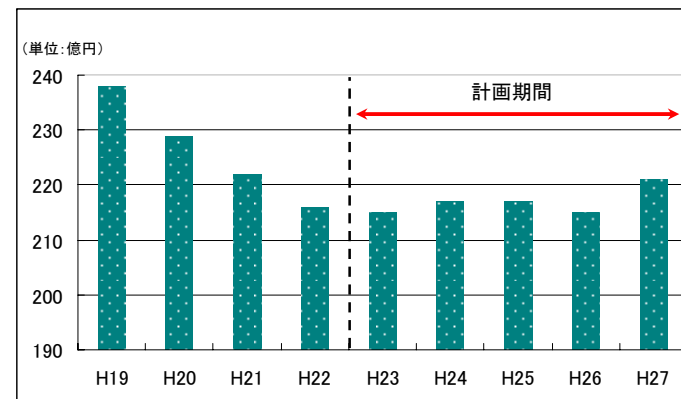
景気の低迷や人口の減少、節水意識の高まりなどの影響により、今後も減少していく見込みです。



(H22 末) (H27 末)
207 億円 → 202 億円

● 一般会計繰入金

修繕費用の増加が見込まれるものの、効率化による経費節減に努めることで、繰入額については 220 億円程度の水準で推移する見込みです。



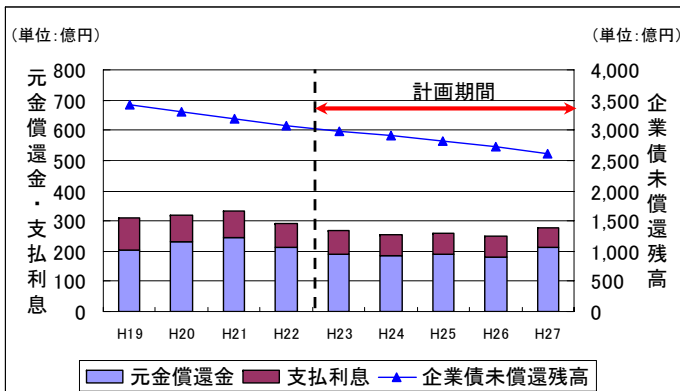
(H19~H23) (H23~H27)
1,192 億円 → 1,086 億円

※ 新行財政改革プラン (H24-H26) に整合

【債務及び資金の見通し】

● 企業債元利償還金・未償還残高

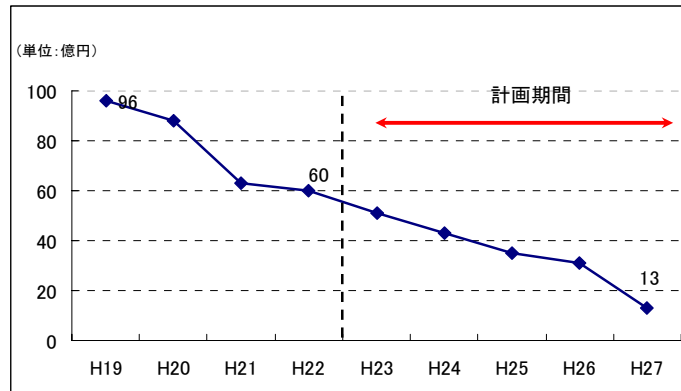
企業債新規発行額の抑制により、企業債の未償還残高は減少していく見込みですが、単年度の元利償還金は、依然として高い水準で推移する見込みです。



元利償還金 (H19~H23) (H23~H27)
1,576 億円 → 1,309 億円
未償還残高 (H22 末) (H27 末)
3,079 億円 → 2,611 億円

● 累積資金残高

経営の効率化を進めるものの、使用料収入の減少や修繕費用の増加、元利償還金が高い水準で推移すること等の影響により、資金残高は減少する見込みです。



(H22 末) (H27 末)
60 億円 → 13 億円

※ H29 に資金がマイナスとなる見込み

第4章 運営の視点 ～市民参画の推進～

【視点1】 情報共有による市民理解の促進

◆ 施設見学会の充実

- 水再生プラザ見学会、施設見学バスツアー

◆ その他広報活動の充実

- 広報誌の活用、ホームページの充実
- パネル展の開催

◆ 下水道科学館による広報活動・環境教育の推進

- 下水道科学館フェスタの開催
- 夏休み・冬休みに合わせた学習イベント
- 下水道を体感できる展示物



水再生プラザ見学会



パネル展

【視点2】 市民参加による施策内容の充実

◆ 出前講座制度の活用

- 分かりやすい情報提供
- 対話による市民ニーズの把握

◆ その他広聴活動の充実

- 下水道科学館来館者へのアンケート調査
- パブリックコメントの活用
- ホームページを活用した意見募集

◆ 下水道モニター制度の活用

- 施設見学会、ワークショップ、アンケート調査



下水道モニター制度

第5章 進行管理

「札幌市下水道ビジョン 2020」の実現に向け、「札幌市下水道事業中期経営プラン 2015」を着実に実行するため、**施策毎に達成目標を設定し、年度毎に公表し、プランの進行管理を行います。**

札幌市下水道ビジョン 2020

P (プランの策定)

具体的な事業・事業費の整理
整備指標の設定、財政計画の提示

札幌市下水道事業中期経営プラン 2015 【2011年～2015年】

Do (実行)
Check (評価)
Action (見直し)

内部評価・外部意見

次期中期経営プラン【2016年～2020年】

【達成目標の例】

施策	指標	単位	H22末	H27末
下水道施設の維持管理	管路修繕箇所数	箇所	5,114 (H18-H22)	10,000 (H23-H27)
下水道施設の改築・再構築	汚泥処理集中化率	%	88.1	99.6
雨水対策	都市浸水対策達成率	%	86.8	87.8
地震対策	水再生プラザの耐震化率	%	57	100
合流式下水道の改善	合流式下水道対策率	%	33	51
下水道資源の有効利用	下水汚泥リサイクル率	%	100	100